## 春ですお掃除しましょう

日本人にアパートを貸しているあるベルギー人が、日本人は丁寧で親切、とてもいいお付き合いができましたと大満足。ところが、帰国時の物件使用状況をチェックしたら・・・。

一般に日本人は清潔好き。家屋内は土足厳禁。毎日お風呂に入って、洗濯も頻繁にし、身の回りを綺麗にしています。 ところが、家の中に入ってみると、何かカビ臭い、油臭い匂いが充満したアパートになっていませんか?

ベルギー人の大家と仲良くしている日本人が、こんなトラブルを小耳に挟み、是非我々の誤解を解かねばとプチポワに連絡をしてくれました。

ベルギー人は、自分の家をとても大切に使っています。器用な人は、家の内装や壁のペンキ塗りなどを週末やバカンス時に自分でやっています。その分愛着があり、綺麗に使ってもらいたいのです。ところが、日本人は、状況を知らず日本の感覚で窓のない浴室を毎日使って、気がついたらカビだらけ、でも掃除の仕方が分からない、一般の掃除洗剤でも取れない、だからどうしようもないと思っている方がいるようです。台所も炒め物や揚げ物をよくする場合、自然に油汚れで台所がべとべとになっています。

国民性により清潔感覚は違いますが、賃貸している物件を 汚したまま帰国するのは、ちょっと気が引けますね。日ごろ から小まめに掃除をして、物件を綺麗な状態で返し、次に住 む人がトラブルなく過ごせるよう気を配りましょう。

さて、ではどうやって・・・。まずはカビの処理から見てみま しょう。

## 【浴室や室内のカビ対策】



の白さにはなりません。そこで登場するのがカビ取り剤(antimoisissures / anti-schimmel)です。カビの生えた部分にスプレーして数分置くと、すぐに透明になります。やった一と思って、このままにしておいてはいけません。このカビ取り剤は強力な化学薬品なので、水ふきをしておかないとペンキがはがれたり、素材を傷めます。浴室などは、最後に水をかけてカビ取り剤を十分洗い流しておきましょう。小まめに掃除をして、日ごろからカビが生えないようにしておけば、一段と気持ちよくお風呂に入れます。

注:\*塩素系の薬品ですので、塩素 が発生しないよう他の洗剤と一緒に 使わないこと。

\*十分換気をしながら使用すること。 \*カーテンは移動させたりはずした りして、カビ取り剤がついて色が抜 けないようにすること。家具も移動 させる。

写真左はImedio社製、写真右のHG 社製も効果があるが、匂いが強い。



## 【台所の油汚れ対策】

台所の油汚れも掃除が大変ですね。汚くなってから掃除するのは面倒です。毎回夕食後の片付け時にガスや電気調理台の周り、換気扇を食器用洗剤を使って綺麗にふきましょう。また、揚げ物をするときには、調理台の下に新聞紙を敷いて、飛び散る油を床に付けないようにすればお掃除の手間も省けます。そして、週1回の洗剤入り水で床ふきを忘れずに行いましょう。換気扇も揚げ物をした後は、必ずフィルターを掃除しましょう。金属製のフィルターの場合は、食洗機に入れて洗えます。旧式の換気扇であれば、小まめにフィルターを入れ替えて、換気扇に油が付いたままにならなよう心がけることが大切です。埃プラス油で、換気扇に火がついて火事になる場合もあります。十分注意してくださいね。

油の飛び散りを少なくする、専用のフィルターも販売されています(写真右)。 揚げ物時に使うと、後のお手入れが楽になります。

掃除が一番大変な浴室 と台所が綺麗になっただ けで、気分もすっきり。



後は、日ごろから行う掃除機かけと埃払いを行えば、家はいつもピカピカです。大家に相談して、掃除の仕方、使用洗剤などを聞いてみるのも良い関係を保つ秘訣です。ヨーロッパは、年末ではなく春のイースター前に大掃除をします。我々も彼らに見習って掃除をしましょう。

プチポワ掃除関連過去記事も参考にしてください。 www.petits-pois.be/archive3/articles/2011/04/4.html www.petits-pois.be/PDF/2011/11novembre2011/2011-11-02p.pdf www.petits-pois.be/PDF/2015/03mars2015/petits\_ pois\_2015\_03\_page03\_nettoyage.pdf www.petits-pois.be/PDF/2015/12decembre2015/petits\_ pois\_2015\_12\_page07\_Soji.pdf